

20番の歌 あなたは貴重な子を与えてくださった

## 私たちにはどうしても贖いが必要

「こうして死につつある体から、誰が私を救ってくれるでしょうか」。ローマ 7:24

ポイント：贖いのおかげで罪が許され、希望が持て、神と和解できます。どういうことでしょうか。

1-2. 私たちはどういふ状況から救い出してもらう必要がありますか。どうしてですか。(ローマ 7:22-24) (挿絵も参照。)

倒壊したビルに人が閉じ込められています。生きてはいますが、自力では脱出できません。できることといえば、助けを求めて叫ぶことだけです。

2 私たちはみんな、この人と似た状況にいます。どういうことでしょうか。アダムはエホバに反逆し、罪人になりました。私たちはアダムの子孫なので、その罪深い状態を受け継いでいます。それで人類は、いわば受け継いだ罪というがれきに閉じ込められていて、そこから自力では抜け出せません。パウロは「ローマのクリスチャンへの手紙」の中で、それがどういうことかを説明しています。(ローマ 7:22-24 私は、内面では(\*内面の人としては)神の律法を本当に喜んでいますが。23 しかし、体の中で別の律法が、考えを導く律法と戦い、私を捕らえて体の中にある罪の律法に従わせているのが分かります。24 私は実に惨めな人間です! こうして死につつある体から、誰が私を救ってくれるでしょうか。を読む。)パウロは「死につつある体から」救ってほしいと訴えています。自分が罪の下でもがいていて、このままいけば死んでしまうと分かっていました。(ロマ 6:23 罪の代償は死ですが、神が与える贈り物は、私たちの主であるキリスト・イエスによる永遠の命なのです。) 私たちもそうです。誰かに救い出してもらわないといけません。



倒壊したビルに閉じ込められているかのように、私たちはみんな受け継いだ罪に閉じ込められ、助けを必要としている。(1-2節を参照)

3. 贖いのおかげでどんな3つのことが実現しますか。

3 でもパウロは苦しい思いを訴えただけではありません。「こうして死につつある体から、誰が私を救ってくれるでしょうか」と言った後、自らこう答えています。「私たちの主イエス・キリストを通して救ってくださる神に感謝します!」(ロマ 7:25 私たちの主イエス・キリストを通して救ってくださる神に感謝します! このように、私自身、考えにおいては神の律法の奴隷ですが、

体(d\*肉)においては罪の律法の奴隷なのです。)パウロはイエスの贖い\*語句の説明:贖いとは、捕らわれた状態から解放するために支払われる代価のことです。イエスの犠牲の死は、神に従う人類を罪と死に捕らわれた状態から解放するための贖いです。の犠牲によって救われると言っていました。贖いのおかげで(1)罪が許され、(2)希望が持て、(3)神と和解できるようになります。この記事ではそういうことを考えます。きっと「希望を与える神」エホバへの愛の気持ちをもっと大きくなるはずです。(ロマ 15:13 希望を与える神が、信仰を持つ皆さんをあらゆる喜びと平和で満たしてくださり、皆さんが聖なる力によって希望に満ちあふれますように。)イエスの「贖いにより、私たちは解放される」ということへの感謝も深まります。(コロ 1:14 神の子の贖いにより、私たちは解放され、罪を許されています。)

## 贖いのおかげで罪が許される

4.5. 私たちみんなに贖いが必要なのはどうしてですか。(伝道の書 7:20)

4 私たちの罪が許されるためには、贖いが必要です。人は誰も間違っただけを言ったりして罪を犯します。(伝道の書 7:20 常に善を行って罪を犯さない正しい人は、地上に一人もいない。を読む。)罪の中には重大なものもあります。例えば姦淫や殺人は、モーセの律法では死刑になるほどの重罪でした。(レビ 20:10 次は、人の妻と姦淫をする男性についてである。男性が仲間の妻と姦淫をするなら、姦淫をした男性も女性も、必ず死刑にされるべきである。民 35:30, 31 人を殺した者は、証人たちの証言によって殺人者として死刑にされるべきである。誰も、ただ1人の証人の証言によって死刑にされることはない。31 死に値する殺人者の命のための贖いを受け取ってはならない。その者は必ず死刑にされるべきだからである。)そこまで重大ではない罪もありますが、罪だということに変わりはありません。ダビデも、「自分の歩みに気を付けよう、言葉で罪を犯さないために」と言っています。(詩 39:1 私は言った。「自分の歩みに気を付けよう、言葉(d\*舌)で罪を犯さないために。自分の口を口籠で(\*覆って)守ろう、悪人が私の前にいる限り」。)確かに、言うべきではないことを言う時があるものです。(ヤコ 3:2 私たちは皆、何度も過ちを犯し(d\*つまずき)ます。言葉で過ちを犯さない(d\*つまずかない)人がいれば、それは完全な人で、体全体を制御できます。)

5 自分の言動を振り返ってみてください。あんなこと言わなければよかった、と思うようなことを言ってしまったことがありますか。時間を巻き戻してもう一度やり直せたらいいのに、と思ったことがありますか。誰にでもそういうことがあるはずです。聖書にはこうあります。「『自分には罪がない』と言うなら、私たちは自分を欺いているのであり、心の中に真理がありません」。(ヨハ 1:8 「自分には罪がない」と言うなら、私たちは自分を欺いているのであり、心の中に真理がありません。)

6-7. エホバは何を根拠に私たちの罪を許してくれますか。(挿絵も参照。)

6 エホバは贖いを根拠に私たちの罪を許してくれます。(エフェ 1:7 その豊かな惜しめない親切のおかげで、私たちはキリストの血によって贖われ、解放されています。過ちを許されているのです。)だからといって、エホバは私たちの罪が大したものではないかのように見過ごすわけでは

ありません。エホバにとって罪は罪です。（イザ 59:2 あなたたちは自らの過ちによって神から引き離されたのだ。あなたたちの罪のせいで神は顔を隠したのであり、耳を傾けようとしないのである。）エホバは公正の神なので、正当な根拠もなく許すことはできません。

7 モーセの律法では、イスラエル人は罪を償うために動物の犠牲を捧げる必要がありました。（レビ 4:27-31 民の誰かが意図せずに罪を犯し、エホバに禁じられていることを行ったとして有罪になったのであれば、28 あるいは、罪を犯したことに気付いたのであれば、その人は、犯した罪のための捧げ物として傷のない雌の子ヤギを連れていかなければならない。29 そして罪の捧げ物の頭に手を置き、全焼の捧げ物と同じ場所でほふる。30 祭司はその血を指で取り、全焼の捧げ物の祭壇の角に付ける。残りの血は全部、祭壇の基部に注ぐ。31 共食の犠牲から脂肪を取るのと同じように、脂肪を全て取る。祭司はそれを祭壇で焼いて煙にする。それはエホバにとって心地よい香りとなる。こうして祭司はその人のために贖罪を行い、その人は許される。; 17:11 生き物の命は血の内にあるからであり、私がそれをあなたたちに与え、自分たちのために祭壇で贖罪を行えるようにした。血が、その内にある命によって贖罪を行うからである。）動物の犠牲は後に捧げられるもっと素晴らしいイエスの犠牲を表していました。イエスの犠牲により、人間はたくさんの恩恵を受けられます。例えば、エホバが私たちの罪を許す法的な根拠になります。パウロはイエスの犠牲の死にどれほどの価値があるかをよく理解していました。コリントのクリスチャンへの手紙の中で、彼らが以前にしていた悪い行いを列挙した後こう言いました。「皆さん[は]洗われて清くなり、神聖なものとされました。主イエス・キリストの名によって、また私たちの神の聖なる力によって、正しいと認められました」。（コリ 6:9-11 正しくない人が神の王国を授けられることはない、ということを知らないのですか。思い違いをして(\*だまされて)はなりません。性的に不道徳な人、偶像を崇拜する人、姦淫をする人、同性愛行為に身を任せる人、同性愛にふける人、10 盗む人、貪欲な人、酩酊する人、ののしる人、脅し取る人が神の王国を授けられることはありません。11 皆さんの中には、以前そのような人もいました。しかし、洗われて清くなり、神聖なものとされました。主イエス・キリストの名によって、また私たちの神の聖なる力によって、正しいと認められました。)



罪を償うための動物の犠牲はイエスの贖いの犠牲を表していた。その犠牲から人間はたくさんの恩恵を受けられる。（6-7 節を参照）

8. 記念式に向けて、どんなふうに関心を整えられますか。

8 今年の記念式に向けて心を整える時、エホバに許してもらえることが自分にとってどれほど深い意味を持つかを考えてください。贖いのおかげで、すでに悔い改めた過去の過ちについていつまでも罪悪感に苦しまなくて済みます。でも、なかなか気持ちが晴れない場合はどうでしょうか。「エホバが許してくれるのは分かるけど、自分は自分のことを許せない」と感じるかもしれせん。そういうときは思い出してください。許すのはエホバです。そして、エホバは裁く権威を

イエスに与えています。誰が許され、誰が許されないのかを決める権威は、あなたにもほかの人にも与えられてはいません。聖書にはこうあります。「神が光の中にいるのと同じように私たちが光の中を歩んでいるなら、私たちは.....神の子イエスの血によって全ての罪から清められます」。(ヨハ一 1:6, 7「自分は神と結び付いている」と言いながら闇の中を歩き続けるなら、私たちはうそをついているのであり、真理を実践していません。一方、神が光の中にいるのと同じように私たちが光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに結び付いており、神の子イエスの血によって全ての罪から清められます。) これは紛れもない事実で、私たちは聖書のほかの教えと同じようにそのことを信じています。贖いは、エホバが私たちが許すための法的な根拠です。そしてエホバは「快く許して下さいます」。(詩 86:5 エホバ、あなたは善い方で、快く許して下さいます。あなたに呼び掛ける人全てに、揺るぎない愛を豊かに示して下さいます。)

## 贖いのおかげで希望が持てる

9. 罪は悪い行動だけでなく、どんなことも指しますか。(詩編 51:5 と脚注)

9 聖書の中で「罪」は行動だけではなく、生まれつきの状態も指します。(詩編 51:5 私は過ちのある者として生まれ、母は罪のうちに私を身ごもりました(\*母が私を身ごもった時から罪深い人間です。)と脚注を読む。) 私たちがつい悪いことをしてしまうのも、病気になり、年を取り、死んでいくのも全部罪のせいです。まだ悪いことを何もしていない赤ちゃんが病気になったり死んでしまったりすることがあるのも罪のせいです。悪い人も良い人も苦しんで、最後には死んでいくのもそういう理由です。アダムの子孫は一人残らず生まれつき罪を負っています。

10. アダムとエバは罪を犯した後、どんな変化を経験しましたか。

10 アダムとエバは罪を犯した後、エホバに背いた結果をすぐに思い知らされました。「心に書かれている」律法、つまり良心にさいなまれるようになりました。(ロマ 2:15 彼らこそ、律法の内容が心に書かれていることを証明しています。彼らの良心が彼らと共に語り(\*証言し)、彼らは自分の考えによって(d\*の間で)非難されたり弁護されたりしているのです。) 何かが変わってしまったことを肌で感じました。良い変化ではありません。体を覆わずにはいられなくなり、まるで犯罪者のように神から隠れようとなりました。(創 3:7, 8 すると、2人の目は開かれ、自分たちが裸であることに気付いた。それで、イチジクの葉をつなぎ合わせて腰を覆う物を作った。8その後、そよ風が吹く頃(c\*夕方のこと)、庭園の中を歩くエホバ神の声が聞こえた。人とその妻は、エホバ神に見つからないよう庭園の木々の中に隠れた。) 罪悪感、不安、心配、痛み、恥ずかしさ。2人はそういう感情を初めて味わいました。このような感情は2人が死ぬまで付きまといました。(創 3:16-19 女にはこう言った。「私はあなたの妊娠中の苦痛を大きくする。あなたは苦しみながら子供を産む。あなたは夫との親密さを求め、夫はあなたを支配することになる」。17 アダム(m\*地の人/人間/人類)にはこう言った。「あなたが妻の言ったことに従い、『食べてはならない』と私が命じた木の実を食べたので、あなたのせいで地面は災いを被った。それであなたは、地面から食物を得るために生涯ずっと苦勞する。18 地面にはいばらとアザミが生え、あなたは野の草木を食べなければならない。19 あなたは額に汗して食物(\*パン)を得、やがて地面に戻る。そこから取られたからだ。あなたは土なので土に戻るのである。)

11. 罪深い状態のせいで人間はどうなっていますか。

11 私たちはみんなアダムとエバと同じように罪の影響を受けています。罪がある状態なので、体や心に痛みを感じます。どれだけ努力しても、その状態から抜け出せません。どうしてでしょうか。聖書にある通り、私たちは「むなしい状態に置かれ」ているからです。(ロマ 8:20 創造物はむなしい状態に置かれましたが、自分の意志でそうなったのではなく、神によってそのようにされ、同時に希望を与えられたからです。) 個人レベルだけでなく、人類全体もそうです。例えば人類は、環境問題への取り組み、犯罪の抑制、貧困の撲滅、国家間の平和の実現など、いろんな努力をしてきましたが、むなしい結果に終わっています。でも贖いのおかげで、私たちはそういう罪深い状態から抜け出せます。どういふことでしょうか。

12. 贖いのおかげでどんな希望が持てますか。

12 贖いのおかげで、「創造物[が]腐敗への奴隷状態から自由にされ」という希望を持てます。(ロマ 8:21 創造物も腐敗への奴隷状態から自由にされ、神の子供の輝かしい自由を得るといふ希望です(\*得るからです。)) 新しい世界では人間は完全になります。体も心も健康になり、罪悪感、不安、心配、痛み、恥ずかしさといった感情に悩まされることはなくなります。贖いとなってくれた「平和の統治者」イエス・キリストのリーダーシップの下、環境問題も解決し、世界平和が実現します。人類の努力が挫折に終わることはもうありません。(イザ 9:6, 7 私たちのために子が生まれた。私たちに男子が与えられた。彼は肩に統治の責任を負い、素晴らしい助言者、力強い神、永遠の父、平和の統治者と(\*という名で)呼ばれる。7彼の統治(\*政府)は限りなく栄え、平和がいつまでも続く。彼はダビデの王座につき、王国によって統治する。その王国は公正と正義によって確立され、今もこれからもずっと存続する。大軍を率いる熱心な神エホバがそうならせる。)

13. 記念式に向けて心を整えるために、どんなことを考えたいですか。

13 罪深い状態から自由になれることが自分にとってどういうことなのか考えてください。新しい世界では、毎朝爽やかに目覚め、自分や家族の食べる物のことを心配したり、病気や死を恐れたりすることはありません。今でも、そういう「希望をしっかりと持ち続けること」で穏やかな気持ちでいられます。その希望は「命のためのいかり」であり、確かで揺らぐことがないものです。(へブ 6:18, 19 この2つの不変の事柄(c\*神の約束と誓いのこと)に関して、神は偽ることができません。神のもとに逃れてきた私たちは、その2つの事柄によって大きな励みを得、自分たちの前に置かれた希望をしっかりと持ち続けることができます。19 この希望は、私たちの命のためのいかりであり、確かで揺らぐことがなく、私たちを幕(c用語集\*美しく織られた布。幕屋と神殿で聖所と至聖所を隔てるために使われた幕には、ケルブの刺しゅうが施されていた。幕屋の入り口と庭の入り口にも幕があった。)の向こう側に導き入れます。) いかりが船を安定させるように、希望があれば、信仰が揺らぐことはありません。試練の中でも頑張っていく力が持てます。エホバが「熱心に仕えようと努める人たちに報いてくださる」ことは確かです。(へブ 11:6 信仰がなければ、神に喜ばれることはありません。神に近づく人は、神が存在し、熱心に仕えようと努め

る人たちに報いてくださる、ということ信じなければなりません。) 今、安心感を持てるのも、将来の希望を持てるのも、贖いがあるからこそです。

## 贖いのおかげで神と和解できる

14. 罪のせいで人間と神の関係はどうなってしまいましたか。

14 アダムとエバが罪を犯したので、人間は神から遠くに引き離されてしまいました。人類は神の敵になってしまった、と聖書に書かれています。(ロマ 8:7, 8 というのは、罪深い事柄を考え続けるなら、神の律法に従っていることにならず、そもそも従えないため、神の敵となるからです。8) それで、罪深い欲望に従っている人は神に喜ばれません。コロ 1:21 皆さんはかつて神から遠く離れており、神の敵でした。悪を行うことばかり考えていたからです。その皆さんと、) エホバはただ罪を大目に見たりすることはできません。それはエホバの完璧な基準に反することです。聖書にも「あなたの目はあまりにも清いので、悪を見続けることはできません」とあります。(ハバ 1:13 あなたの目はあまりにも清いので、悪を見続けることはできません。あなたは悪を見過ごすことができません。それなのに、不誠実な者たちを見過ごしておられるのはどうしてですか。悪い人が自分より正しい人を締め付けているのに、どうして黙っておられるのですか。) 罪のせいで、神と人間の間には深い溝ができてしまいました。その溝を埋めなければ、誰も神との良い関係は持てません。神と和解するためにどうしても必要なのが贖いです。

15. 贖いによってエホバと和解する道が開かれました。どういうことですか。

15 聖書によると、「イエスは私たちの罪を償うための犠牲です」。(ヨハ 2:2 イエスは私たちの罪を償う(\*私たちを神と和解させる)ための犠牲です。私たちの罪だけでなく、全人類の罪のためです。)[罪を償うための犠牲]と訳されているギリシャ語には、なだめる手段という意味合いがあります。贖いの犠牲によってエホバをなだめる、とはどういうことでしょうか。イエスが死んだことでエホバの気持ちが和らいだ、ということではありません。エホバの公正の基準がいわばなだめられた、つまり満たされたということです。イエスが死んだことはエホバが人間と和解するための根拠になりました。(ロマ 3:23-26 全ての人は罪人になったので、神の栄光に達することができません。24) キリスト・イエスが払った贖いによって解放され、神の惜しみない親切によって正しいと認められることは、無償の贈り物なのです。25) 神はキリストを、償いのための捧げ物として差し出してくださいました。キリストの血への信仰によって神と和解できるようにして下さったのです。神がキリストを差し出したのは、ご自分が正しかったということを示すためでした。かつて辛抱しつつ、過去に犯された罪を許していたことは、正しかったのです。26) また、神がキリストを差し出したのは、ご自分が今この時にも正しいということを示すためでもありました。今イエスに信仰を持つ人を正しいと認めることも、正しいのです。) またエホバは、イエスが亡くなる前にエホバに仕えていた人たちのことを正しい人と見なすことができました。(創 15:1 こうしたことの後、アブラムは幻の中で、次のようなエホバの言葉を聞いた。「アブラム、恐れてはいけない。私はあなたの盾だ。あなたは非常に大きな報いを得る」。) 6) そこでアブラムはエホバに信仰を持った。神はそのことを正しいと見なした。) どうしてそんなことができるのでしょうか。エホバにとって、イエスが贖いになることは絶対確実だったからです。(

イザ 46:10 私は、結末を初めから、まだ行われていないことをずっと前から予告する。『私の決定(\*目的/意図)はその通りになり、私は自分が望むことを全て行う』と言う。) 贖いによって、人間がエホバと和解するための道が開かれました。

16. 記念式に向けて心を整えるために、どんなことも考えるといいですか。 (挿絵も参照。)

16 神と和解できていることが自分にあってどんな意味を持つのか、考えてみてください。私たちはイエスが教えたように、エホバのことをお父さんと呼びます。(マタ 6:9 それで、このように祈らなければなりません。『天におられる私たちの父よ、お名前が神聖なものとされますように』) 「エホバは私の友達です」と言うこともあります。でも、「お父さん」や「友」と呼ぶ時、深い敬意や謙虚な気持ちを忘れないようにしたいものです。どうしてでしょうか。罪を受け継いでいる人間は、エホバとの絆を自力で持つことはできないからです。エホバをお父さんや友と呼べるのは、ひとえに贖いのおかげです。エホバはイエスを通して「他の全てのものが.....ご自分と和解できるようにしました。[イエス]が苦しみの杭に掛けられて流した血により、平和な関係がもたらされるようにしたのです」。(コロ 1:19, 20 神は、子を全ての点で完全であるようにすることを喜びました。20 また、子を通して他の全てのものが、天のものも地上のものもご自分と和解できるようにしました。子が苦しみの杭に掛けられて流した血により、平和な関係がもたらされるようにしたのです。) それで、罪を受け継いでいる今でもエホバと温かい友情を育むことができます。



イエスの死は、エホバと人類が和解するための法的な根拠。(16節を参照)

## エホバは憐れみ深い神

17. 贖いについて考えると、エホバが憐れみ深いことがよく分かります。どうしてですか。(エフェソス 2:4, 5)

17 贖いについて考えると、エホバが「憐れみ深い」ことがよく分かります。エホバは「私たちが過ちのゆえに死んでいた時に.....生かしてくださいました」。(エフェソス 2:4, 5 しかし、憐れみ深い神は、私たちが深く愛し、私たちが過ちのゆえに死んでいた時に、キリストと共に生かしてくださいました。皆さんは惜しみない親切によって救われたのです。を読む。) 「永遠の命を得るための正しい態度を持つ人」たちは必死に助けを求めています。受け継いだ罪というがれきの下から自力では抜け出せないことが分かっています。(使徒 13:48 異国の人々はこれを聞いて喜び、エホバの言葉を賛美するようになった。そして、永遠の命を得るための正しい態度を持つ人は皆、信者となった。) エホバは助けを求めるその声を聞いてどうするのでしょうか。王国の良い知らせを伝え、エホバとイエスについて知ることができるようにしています。(ヨハ 17:3 永遠の命を得るには、唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストのことを知る必要があります。) サタンはアダムとエバがエホバに反逆したのを見て、これで神が思い

描いていることは実現不可能になった、と考えたかもしれません。でも、それはとんだ勘違いでした。

18. 贖いについて考える時、どんな点に目を向ける必要がありますか。

18 贖いについて考える時、自分がどんな恩恵を受けられるかだけでなく、もっと大きな問題に目を向ける必要があります。エホバが贖いを与えたのは、サタンがエデンの園で持ち出した問題を解決するためでもあります。(創 3:1-5 さて、エホバ神が造った野生動物の中で蛇が最も用心深かった(\*利口だった)。蛇が女に言った。「あなたたちは庭園の全ての木の実を食べてはならない、と神が言ったのは本当ですか」。2 女は蛇に言った。「私たちは庭園の木の実を食べてよいのです。3 でも、庭園の真ん中にある木の実について、神は、『食べてはならない。触れてもならない。食べたり触れたりするなら死ぬ』と言いました」。4 蛇は女に言った。「あなたたちは決して死にません。5 その木の実を食べた日に、目が開かれ、あなたたちが神のようになって善悪を知るようになることを神は知っているのです」。、15 そして私は、あなたと女の間、またあなたの子孫(d\*種)と女の子孫(d\*種)の間に敵意を置く。彼(c\*女の子孫のこと)はあなたの頭を砕き、あなたは彼のかかるとに傷を負わせる(\*を砕く)。) 贖いによって、エホバは傷つけられてきた自分の名誉を回復し、名前を神聖なものとしします。また、私たちを罪と死から救い出し、愛情深い神だということを証明しています。さらに、罪深い人間にもサタンの主張の間違いを明らかにする機会を与えてくれています。(格 27:11 わが子よ、賢くあって、私の心を喜ばせよ。私をあざける(\*に挑む者)に私が答えるためである) では、私たちは贖いに心から感謝していることをどのように表せるでしょうか。次の記事で考えます。

## 贖いのおかげでどのように...

### 1. 罪が許されますか

・S06-07 エホバは公正の神なので正当な根拠もなく許すことはできないが、贖いを根拠に私たちの罪を許してくれる。罪を償(つぐな)うための動物の犠牲はイエスの贖いの犠牲を表していた。その犠牲から人間はたくさんの恩恵を受けられる。

### 2. 希望が持てますか

・S11-12 私たちはみんな罪がある状態にあるために体や心に痛みを感じ、人類全体の犯罪、貧困、戦争などの問題も抱えているが、贖いのおかげで、「創造物[が]腐敗への奴隷状態から自由にされ」という希望を持てる。新しい世界では人間は完全になって体も心も健康になり、イエス・キリストのリーダーシップの下で環境問題も解決して世界平和が実現する。

### 3. 神と和解できますか

・S15-16 イエスは私たちの罪を償うための犠牲つまりエホバの公正の基準がいわばなだめられ満たされるための犠牲なので、イエスが死んだことはエホバが人間と和解するための法的な根拠になり、その和解の道が開かれた。

## 19 番の歌 主の晩餐